

フランキンセンスのローション・パックで、 肌のうるおいを取り戻しましょう。

猛暑日が続く、肌にも疲れが出るころです。紫外線やエアコンは肌荒れの元ですから、夏こそしっかりお手入れしましょう。ローション・パックなら、保湿効果とともに、ひんやりした心地よさも楽しめます。夏のリラックスタイムにぜひどうぞ。

肌の疲労回復は、

フランキンセンスに任せましょう

フランキンセンスは、皮膚を修復する働きのある精油です。老化肌のお手入れといえば、アロマセラピーの世界では、真っ先にあがります。

香りは、木の奥深さにレモンのようなさわやかさを持ち合わせます。涼し気な雰囲気、夏のスキンケアにぴったりです。

肌の水分補給は、

ローション・パックに任せましょう

ローション・パックは、角質層に化粧水をたっぷり染み込ませる保湿ケア。即効性があるので、乾燥が気になるとき、いい切り札になります。

きれいな肌をつくるのは、角質層の水分量といわれます。うるおいで満たすと、光が反射して、みずみずしさがうまれます。



【ローション・パックの方法】

1. 小鉢に、グリセリン(小さじ1杯)とフランキンセンス(3滴)を入れ、よく混ぜる。
2. 水(25ml)を加えたら、化粧水の完成。
3. 化粧用コットン(4枚)を浸し、軽く絞る。2枚に裂いて、計8枚を顔にのせる。
4. 三分後コットンを外す。クリームや乳液を塗って、終了。

ご紹介割引はじめました

詳しくはこちら→
最大で4500円引



音楽でリラックス 8月の一枚



パーソナル・ノーツ
ゴードン・マーク

ウクレレ・ソロのアルバム。でも、ウクレレと知らされなければ、ハープかギターの音だと思ってしまうでしょう。ハワイアン、スタンダード、クラシックの曲を、静かで落ち着いた雰囲気でも演奏しています。ショパンの「ノクターン第2番」などは、ピアノのイメージとは違いますが、ウクレレ特有のコロコロした音で弾かれると、これはこれでいいなあと思き入ってしまいました。

編集後記

メイン記事のローション・パック。私もたびたびやりますが、以前は、コットンの絞り加減に悩んでいました。化粧水をたっぷり含ませたいけれど、ゆるいとずくが落ちてきます。そこで近頃は、肩にタオルを巻き、服が濡れないようガードしています。

話は少しそれますが、100円ショップに、シリコン製のフェイシャル・マスクが売られているそうです。それをローション・パックの上に重ねると、さらに保湿効果があがると聞きました。今度見かけたら、買ってみようと思っています。

おすすめアロマグッズ(128)

「シャツミスト～エキストラミントの香り」
アイスノン

衣類に吹きかけると、涼しく感じるスプレー。メントールなどが配合されて、布地が冷たく感じます。特に、背中や脇の部分にスプレーすると、清涼感が高くなるようです。香料は合成ですが、ミント系でさっぱりしています。シャープな香りなので、男女を選ばず使えると思いました。

